

予期せぬ妊娠に対する支援に関する研修

実施要領

1. 研修の目的

予期せぬ妊娠は、母体や胎児の健康や安全が確保されにくいだけでなく、その後の子育てに困難を生じることがある。現在、女性健康支援センター等で相談・支援を実施しているが、対象者の抱える問題は複雑多岐にわたるため、関係機関の連携により支援が求められる。

本研修では、予期せぬ妊娠に対する相談・支援の基本知識や、関連機関が連携した支援の必要性について学ぶとともに、先進的に取り組んでいる自治体やNPO等の取り組み事例について学び、女性健康支援センター業務の委託先等へ伝達し、相談・支援の充実や関係機関との連携促進に活かすことを目的として実施する。

2. 主催者

厚生労働省（実施団体：公益社団法人 母子保健推進会議）

3. 対象者

女性健康支援センターや妊娠 SOS を実施している自治体及び左記業務について自治体の委託を受けている団体等の担当者または自治体において母子保健事業を中心的に担っている方

4. 実施形態

ライブ配信形式とオンデマンド配信形式で実施する。

1) ライブ配信形式

- ・オンライン（Zoom）での実施とし、40名の参加者を募集する。
- ・行政説明、講義、事例発表の様子をリアルタイムで配信するとともに、ブレイクアウトルーム機能を利用してグループワークを行う。

2) オンデマンド配信形式

- ・ライブ配信時に撮影した行政説明、講義、事例発表の映像を編集し、およそ3～4週間後から母子保健推進会議の特設サイトにおいて2週間程度配信する。

5. ライブ配信日時及びオンデマンド配信期間

- ・ライブ配信日時：令和3年10月14日（木）11:00～16:40
- ・オンデマンド配信期間：令和3年11月4日（木）～11月18日（木）

6. ライブ配信プログラム

講義	時間	内容	講師
行政説明	11:00～11:30	母子保健行政の動向	厚生労働省子ども家庭局母子保健課
講義1	11:35～12:35	産婦人科の臨床と予期せぬ妊娠	東京女子医科大学母子総合医療センター 教授 水主川 純
昼休み	12:35～13:30		
講義2	13:30～14:30	予期せぬ妊娠への支援	目白大学人間学部人間福祉学科 准教授 姜 恩和
事例紹介	14:35～15:35	女性健康支援センター事業の取組	・東京都東村山市 ・NPO法人MCサポートセンター みつくみえ 代表 松岡 典子
グループワーク	15:40～16:40	相談から支援への繋ぎ等	目白大学人間学部人間福祉学科 准教授 姜 恩和

敬称略